

笑って健康！動いて健康！



▲多彩な動きで会場を沸かせました。

昨年11月10日(金)、利根町公民館において、いきいきクラブ利根(老連)主催による「第9回演芸大会」が開催されました。

当日は、各地区の老人クラブから260名の会員の方々が参加し、舞踊や合唱、カラオケや楽器演奏など多彩な演目が披露されました。会場内は出演者と参加者が一体となって盛り上がり、活気に溢れた、楽しいひとときとなりました。

## 桜のトンネル・関東一を目指して！



▶町の誇れるトンネルを目指して！

利根川堤防に、町民有志の方が桜のオーナーとなって桜の若木を植樹してから13年の歳月が経ちました。昨年11月のオーナー会議では130名が参加し、この1年間で幹周りが7~8cmも太くなる

成長ぶりや、病虫害防除活動の報告を受け関東一の桜のトンネルへの夢を膨らませました。

会議の後は全員で183本の木に寒肥を施しました。開花時期には皆さまが自慢のトンネル内を散策し、2020年の東京オリンピックを目指し、「利根町の桜づくみここにあり！」を目標として活動しております。



## 利根町長杯バレーボール大会開催！



▶見事優勝した「みどりクラブ」の方々！

11月12日(日)、利根中学校で開催された利根町長杯バレーボール大会。今年も町内外あわせて計12チームが参戦しました。どのチームも声を掛け合い、互いをフォローしながら、全力で戦

いを繰り広げていました。

コート内を縦横無尽に舞い、強烈なスパイクを放つなど素晴らしい動きを見せた我孫子市の「みどりクラブ」の方々が、見事優勝カップを手に入れました。

## 認 サポステップアップ！



▶この町にずっと暮らし続けるために！

11月15日(水)、役場多目的ホールにて、第1回認知症サポーターステップアップ講座が開催され、地域で活動をしているボランティアや民生委員の方々が参加しました。

認知症サポーター(認サポ)とは、認知症を正しく理解し、見守る人のことで、この講座はさらなる地域づくりの強化を目的として開催されたものです。

今年は、認サポ養成開始から10年が経過し、サポーターは1,700人を超えました。

認知症は誰もがかかる可能性のある病気ですが、加齢とともに罹患リスクも上昇します。

認知症になっても住みなれた地域で安心して住み続ける事ができる地域づくりを目指し、グループワークでも積極的な意見交換が行われました。

# 町の話題

その①



布川小学校は平成20年4月1日に旧布川小と太子堂小が統合し、今年度は創立10周年を迎えました。11月末にはたくさんの方のご来賓をお迎えして、盛大な記念式典も行いました。今年度も本校キャッチフレーズ「えがおでなかよし布川小学校」のもと、学校・家庭・地域が一丸となって児童の教育に当たっています。児童のあいさつと歌声が元気で大きいことが自慢です。



▲記念キャラクター「ふかわんこ」

## 学校紹介

このコーナー！  
最後を飾るのは、布川小学校です！

つないでいこう  
10周年記念スローガン  
夢と笑顔の布川小

## スローガン「えがおでなかよし 布川小学校」

### 確かな学力



昨年度「授業力向上ブラッシュアップ研修」の協力校として得た成果を生かし、今年度も積極的に算数の研究に取り組んでいます。また、新学習指導要領実施に向け、「特別の教科道徳」の研修を中心に職員の授業力を高めています。

### 豊かな心



布川小の自慢は、元気で大きな声のあいさつと歌声です。人権教育推進校として、毎年全児童による人権集会を行い、各学級で話合った人権スローガンを発表します。えがおでなかよし学校生活を送ることができるよう、自他のよさを認め合う心を学校教育活動全体で育てています。

### 健やかな体



布川っ子は、各種学校行事に全力投球します。特に、体育的行事は、PTA本部を中心とした保護者の皆さんの協力のもと、練習のときから一生懸命頑張っています。今年度は、体力テスト結果から「投力」が弱いことが分かり、体育委員会の児童を中心に、昼休みを使って投力アップのために工夫した練習が行われました。

### 開かれた学校



布川小は、地域ボランティア約100人(登下校見守り・校舎内外巡視・読み聞かせ・敷地内除草など)のマンパワーに支えられています。毎年地域の方をご招待し、感謝の気持ちを込めた学習発表会をします。今年は記念式典と合わせ、約300人の保護者・地域の方に来ていただきました。

## 人権教室が開催されました！



▶積極的にコミュニケーションを取ることが大事！

12月14日(木)、役場において、利根町民生委員・児童委員の方を対象に、人権教室が開催されました。

当日は、40名の方が参加し、「外国人と人権」をテーマに、日本に暮らす外国人に対する日常の出来事や起こる問題などをドラマにしたDVD視聴を行いました。

視聴後はグループごとに分かれて「自分がそれぞれの登場人物だったらどのように思うか」、「外国人に対する差別をなくすには、どのような考えをもって行動すればよいのか」など活発に議論が行われ、話し合ったことを各グループの代表者の方に発表していただきました。

参加された方々からは、「外国の文化・風習の違いについて理解する。」「言葉が通じなくてもジェスチャーを使えばコミュニケーションが取れる。」「分かり合おうとする気持ちが大事。」などの感想が聞かれました。